

人生100年時代 健康寿命で生き抜くために腰痛を如何乗り切るか

腰痛矯正・ 腰痛改善ベルト **エスアイ** **SI** ベルト

平成28年の厚生労働省による国民生活基礎調査の概況では、日本人男女の自覚症状の悩みとして、腰痛は、男性では第1位、女性では第2位の悩みという発表があります。全国で約2800万人！人口の1/4にも及ぶこの人数。こうした多くの悩みがある症状です

ので、腰痛ベルトは、病院で処方されるものからドラッグストア等で市販されているものまで、数多く存在します。この腰痛ベルトは、従来品の問題点が改善された新しいタイプの腰痛ベルトとなります。是非ともお試しください。



特 徴

- 片手で楽々圧力調整
- 目立ちにくいコンパクトデザイン
- 通気性の良いナイロンメッシュ

SIベルト
装着は非常に簡単



装着手順

SIは、戦後から義肢装具を扱っている小原工業が提案する骨盤矯正・腰痛改善ベルトで、臨床現場のノウハウから取り入れた日常生活(長い時間)に使用するための骨盤矯正ベルトです。

縦の幅が狭いので目立ちにくく、また、腰の曲げ伸ばしの妨げになりにくくなっています。独自のプリー（滑車）機構により、任意のタイミングで圧力を片手で調整でき、日常動作を妨げず長時間使用に最適。骨盤に緩みや歪み・ズレ・開きなどがあると、腰まわりの筋肉が支えようとして腰まわりの筋肉に負荷がかかり腰痛がおきます。

そうした時にSIベルトは一定の位置で適切に骨盤を締めることができ、骨盤が正常な位置になるよう矯正のサポートをします。

SIベルトはこのような方にお勧めです

SIベルトは、薄型かつコンパクトなデザインにより、選べる服装の範囲が広がることでお洒落を快適に楽しめます。セーターやトレーナーなどの衣服の下に着用すればより目立たなくなります。腰や骨盤をサポートすることで日常動作が動きやすく、活動範囲も広がり生き生きとした生活を送ることができます。

**骨盤の歪みを解消して、
血流、代謝を整えます。**

また、骨盤を引き締めることで体の筋肉バランスや姿勢を改善し、下腹部や体のラインをすっきりと見せるなど、スタイルアップにも効果的です。

**特に産後の女性の骨盤矯正には、
最適です！**

(出産時に骨盤が大きく開き6ヶ月位かけて自然に閉じていきますが、退院後、そのままにしておくと、中には元の位置に戻らず歪

みやズレが生じたりして、下半身太りや体型崩れの原因にもなります。)独自の滑車構造を内蔵しているため、従来のコルセットに比べて圧倒的に手早く、小さな力(通常の3分の1)で**好みのサポート感に調整**できます。座る時やトイレに行く時も、引き手を引くだけで圧力を調節できるため、**1日を通して装着が簡単**です。本体の素材はナイロンメッシュが採用されており、通気性があり蒸れにくくなっています。また、伸びる素材ではないので**激しく動いても矯正力がキープ**されたままです。

ウエストサイズ(フリー89cm まで対応)

仕 様

生産国 韓国
材 質 ナイロンメッシュ、ナイロン樹脂



1. ベルト内側テープについている保護パッドを外します。(※この保護パッド)



2. 本体の紐を最大限に広げた状態にします。



3. 引き手を左側にし、紐を全て平行にして背中側に回します。



4. 正面側のベルトの右側を上にして、左右均等になるよ



5. 全面から見た正しい装着状態です。



6. 左側にある引き手を本体から外して引張ることで、骨盤周りの圧力を調



7. 快適な締め加減で引き手を本体に着けます。

— 製造販売元 —



総合メーカー 株式会社 小原工業

生産国 韓国

SIベルト

14,080円(税込)

— 取扱元 —

全省庁統一資格取得企業

JEIC販売株式会社

東京都八王子市久保山町 2-36-4

TEL 042-659-3110

E-mail info@jeic-sa.jp http://jeic-sa.jp

— 販売代理店 —

諦めないで！ これがある！

一般的な製品と本製品

他社品の一般的な製品で問題とされている点を、腰痛ナックスとSIベルトでどのような改善がされたかを挙げてみました。

他社の製品



1 材質について

一般的な腰痛ベルトは、ゴムやポリウレタンでできています。こうした材質は柔らかい素材なため、体へのフィット感が得られる反面、どんなに締め上げても伸びてしまい矯正力が逃げてしまい、強い腹圧を得ることはできません。また、長く使用していると、材質自体が伸びてしまったり、加水分解で素材自体が劣化し矯正力がなくなっていきます。

2 圧力の調整

腰痛ベルトは、すぐ緩くなってしまいうことがよく言われています。それはベルトに弾性があるので緩く感じてしまうのと、体は常に動いているのでズレも生じ、また、足のむくみのように常に変化しているので、長時間使用していると緩みが生じます。一般的な腰痛ベルトでは、再度、広げて締め直さないと緩みを解消することができません。また、補助ベルトのある二重締めの商品もありますが、補助ベルトがゴム性なので引っ張る際に強い力が必要となります。

3 圧力の方向性 補助ベルトが付いている腰痛ベルトは、両手で締め上げます。圧力の支点となるプラスチック環等が横にあるため、左右均等にバランス良く締めないと、ズレが生じて適切な圧力が得られません。また、左右のベルトがバラバラになり間違った箇所につけてしまったり、間違った方向に引いてしまう事もあります。引く力も強い力が必要となります。こうした煩わしい装着方法がやがて使用されなくなってしまう原因にもなっています。

4 締める方法について

従来の腰痛ベルトは、左右から圧迫していくので、横や前から締め付けられるように感じます。前からお腹が押された感じになるので、座ったり屈んだりする動作をする時など嫌な圧迫感が感じられます。



5 大きさの問題

一般的な腰痛ベルトは、縦の幅が大きいかさばると言われています。それは、締める部分が写真のように2本のベルトが上下配置され作られているからです。これは圧力を強くするためには必要な構造なのですが、大きくなってしまいます。



腰痛ナックス と SIベルト



1 材質について

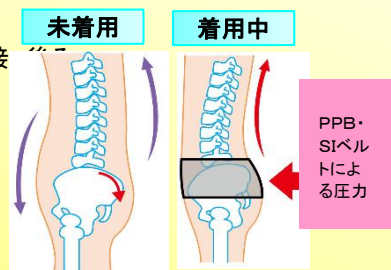
腰痛ナックス・SIベルトは、ナイロンメッシュという通気性のあるプラスチック素材でできており、ゴムやポリウレタンのような柔らかさがないので矯正力が逃げず、得たい圧力を継続して長く得ることができます。実際に使用した方は従来品と比較して、圧倒的な圧力の違いを体感することができます。また、プラスチックにも多少の弾力性があるので、適度なフィット感も得られます。本商品は、臨床の現場で装具としても使用されており、長期間使用しても機能にズレや歪の変化はなく厚生労働省の定める更生用装具としての耐用年数2年を満たすように作られています。

2 圧力の調整

腰痛ナックス・SIベルトは、伸びない素材でできており体にかかっている圧力も強いのでズレや緩みが生じにくくなっています。緩みが生じた場合でも、一度締めた場所から、片手で簡単に圧力の調整が行えます。調整する力の強さは滑車の数に比例するのですが、腰痛ナックスは従来品の1/5の力、SIベルトは1/3の力で調整することができ、どんなに力がない人でも容易に調整することができます。

3 圧力の方向性

腰痛ナックス・SIベルトは、直接を締めることにより、後方から前方に向かっていくように圧力がかかり体幹を立ち上げます。横で締めるよりも効果的で安定した圧力が得られます。



4 締める方法について

腰痛ナックス・SIベルトは、片手で締めますが、締まる部分が後ろにあるため、引っ張った方にズレることはありません。片手で操作できるとメリットとしては、間違えずに素早く操作ができるので、急な腰痛への対応、立つとき座る時の日常動作、赤ちゃんを抱っこしながらの調整、肉体労働をしながらの使用など、何かをしながらの操作が行え、調整の面倒くさが解消されています。こうした簡便さが、継続的な使用に繋がります。

5 大きさの問題

腰痛ナックス・SIベルトは、この部分にプーリー（滑車）機構を配置しているため、コンパクトな設計となっています。